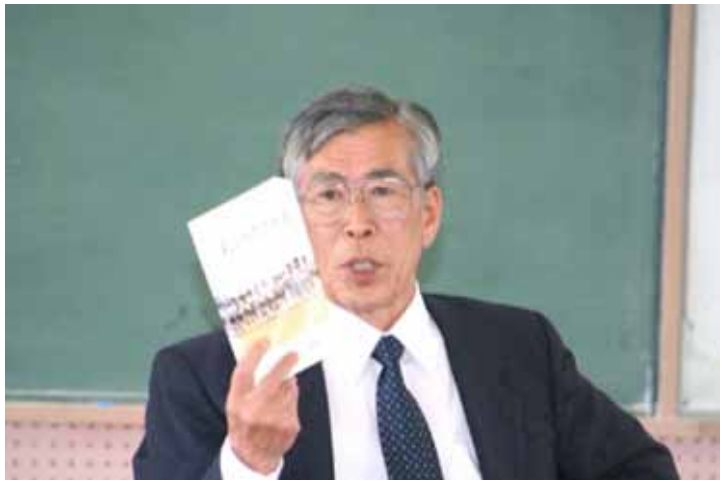
蒲郡市立蒲郡中学校

＜６月４日＞



授業名人の曽田隆之先生（元蒲郡市立蒲郡南部小学校長)をお招きして、『授業のプロをめざして』というテーマで講話をしていただきました。

「授業がうまくなりたかったら、冷や汗をたっぷりとかきなさい」「先生が授業をしているけれど、子どもが学習していない場面がある。それは、教師が生徒の考えを組織、再構成していこうという姿勢の欠如であり、生徒の動きや発言に注意が払われていないからである」「予習をしっかりやらせたい。分からないことをもたせて授業に臨ませる。分からないことは分かったことの上にある」「研究授業は仮説を検討する授業である。仮説がなければ意味がない」等、経験に裏付けられた貴重な言葉を数多くいただきました。教師自身が自分に厳しく授業に臨む必要があることを再認識することができました。

＜６月１２日＞

曽田隆之先生に、若手教師による中２理科『電流と磁界』の授業を参観していただきました。コイルモーター作りを単元の導入として取り入れた授業でした。授業後の指導の場では､「オリエンテーションの授業であるならば、もっと子どもに発言させたい。生徒からの発言を広げる工夫をしたい」「これから学習する内容に興味関心をもたせるような板書の工夫をしなければ」等、的確なアドバイスをいただくことができました。

６月中には、この他に国語と数学の授業を見ていただき、指導を受けることができました。